

第7回大阪アジア映画祭 交流イベント

アジアの監督たちと行く中之島クルーズ

春3月、アジアの監督たちと中之島クルーズに行こう! ABCホール前の「ほたるまち港」から中之島を経て、大阪の中心街を一周する楽しい船旅。今回は、あのグリコ看板を水上から見上げる道頓堀を周遊する人気コースをクルーズします。そして、船内では大阪アジア映画祭に参加されたゲストたちとの交流の集いを行います。どんなゲストが来られるかは、映画祭ホームページで一部ご紹介します。ぜひ、ご参加ください!

日時:3月17日(土) 15:00出航

(14:45までに「ほたるまち港」にご参集ください)

コース:

ほたるまち港～中央公会堂～東道頓堀川～道頓堀～道頓堀水門～大阪ドーム～ほたるまち港 (1～1.5時間のクルーズです)

乗船料金:2500円 予約受付:電話予約制。TEL 06-6441-0532(一本松海運) 募集人数:34名 申込受付開始:2月20日(月)9:00～ ※満員になり次第、募集を締め切りますので、お早めにご予約ください。共催:一本松海運株式会社



ウエルカム・パーティ

アジア各国からのゲストをお迎えしての交流パーティにご参加いただけます。春のひととき、アジアの映画人たちとのアジア・ナイトを楽しくお過ごしください。参加された方には公式カタログをプレゼントいたします。50名様限定ですので、お早めにお申し込みください。

日時:3月16日(金) 19:15～

会場:大阪市中央公会堂 3階 中集会室 料金:4000円(前売のみ/50枚限定)

※チケットぴあでお求めください。[Pコード:559-385] ※お酒もご用意しておりますので、成人限定とさせていただきます。※チケット枚数に限りがありますので、お早めにお求めください。

トークイベント

第7回大阪アジア映画祭に来日されたゲストの皆さまとのトークイベントを開催します。上映会場での質疑応答に加え、さらに温かな交流を深める機会。香港のピーター・チャン監督ほかをゲストに予定しております。詳細は、専用チラシまたは映画祭ホームページなどで発表いたします。ご期待ください。

Event

【イベント】3.11から1年～東北映画特集

未曾有の大震災から1年。地震と大津波、さらに原発事故で、未だ東北は未来が見えない。あまりに過酷な事態となった東北への想いを込めて「東北映画特集」を開催。日本映画の名匠たちが見つめた東北、そして「3.11」を機に東北へのエールを込めて製作された作品などを一挙上映。市川崑の名作『東北の神武たち』ほかの貴重な作品群です。さらに、震災前の気仙沼を舞台に描いた未公開作品『ええじゃないか・ニッポン宮城篇～気仙沼伝説』を特別上映!!

会期:3月3日(土)～9日(金) 会場:シネ・ヌーヴォ(九条)



小原庄助さん

1949年/新東宝 監督:脚本:清水宏/出演:大河内傳次郎、風見章子、飯田蝶子、清川虹子

◎子供と地方ロケを愛した名匠・清水宏の牧歌的田園劇。朝寝朝酒朝湯が大好きな主人公を剣戟スター大河内傳次郎が巧演。



命美わし

1951年/松竹大船 監督:大庭秀雄/出演:笠智衆、三国連太郎、佐田啓二、淡島千景、桂木洋子

◎仙台市に現存する伊達政宗が築いた名城・青葉城が舞台。その後、『君の名は』を撮ることになる大庭秀雄の社会派風メロドラマの傑作。



花の白虎隊

1954年/大映京都 監督:田坂勝彦/出演:市川雷蔵、勝新太郎、花柳武始、阿井美千子、峰幸子

◎明治以降、現在に至る東北の受難の歴史はここに始まった。官軍と戦った会津藩(福島)、白虎隊の飯盛山の悲劇はその後も続いている。



幻の馬

1955年/大映東京 監督:脚本:島耕二/出演:若尾文子、北原義郎、岩垂幸彦、遊佐兎彦

◎伝説の名馬と牧場の娘とのふれあいを描いた佳作。3.11で被害を受けた八戸線の種差駅(現・種差海岸駅)や廃線になった南部縦貫鉄道でロケ。



東北の神武たち

1957年/東宝 監督:市川崑/原作:深沢七郎/出演:芥川比呂志、伊豆肇、佐藤允、千秋実

◎東北の貧しい山村を舞台に、伝え聞く山の彼方の「娘ばかりの村」へ旅立つ男の土俗的艶笑譚。市川崑の知られざる傑作!! フィルム提供:東京国立近代美術館フィルムセンター



春の山脈

1962年/松竹大船 監督:脚本:野村芳太郎/出演:罇崎晴子、十朱幸代、三上真一郎、佐野周二

◎東京の高校を出て故郷の会津若松に帰ってきた娘と、芸者になった同級生。ふたりを取り巻く人間模様を描いた朗明青春編。



地方記者

1962年/東宝 監督:丸山誠治/出演:フランキー堺、白川由美、星由里子、夏木陽介

◎地震と原発事故で大きな被害を受けた福島県のいわき市で50年前に撮影。工場の汚水により、近海の魚が全滅する……。フランキー堺が新聞記者を好演。



こころの山脈

1966年/本宮方式映画製作の会 監督:吉村公三郎/出演:山岡久乃、宇野重吉、吉行和子、奈良岡朋子、殿山泰司

◎福島県本宮町の小学校の教師や母親らが、町を挙げて映画づくりに協力した異色作。病に倒れていた名匠・吉村公三郎監督の復帰作。



津軽じょんがら節

1973年/斎藤プロ・ATG 監督:斎藤耕一/出演:江波杏子、織田あきら、中川三穂子、西村晃、寺田農

◎津軽の荒涼とした海と津軽三味線のもの哀しい音色。逃避行を続ける男女のロードムービー。映像派監督・斎藤耕一の代表作。



3.11 A Sense of Home Films

2011年/なら国際映画祭 参加監督:ピクトル・エリセ、ジャ・ジャンク、ボン・ジュノ、河瀬直美ほか

◎東日本大震災後、河瀬直美監督の呼び掛けにより、世界の映画作家21名が集結。3分11秒の映像で紡ぐ、それぞれの「家」という感覚。



3.11 明日

2011年/仙台短編映画祭 参加監督:富永昌敏、鈴木卓爾、濱口竜介、佐藤良祐、内藤瑛亮、加藤直輝ほか

◎41人の作り手たちが、3分11秒という制約の中で、3.11以降の自分と対峙し葛藤を経て生み出したそれぞれの「明日」。

※タイムテーブルにつきましては、シネ・ヌーヴォ(TEL 06-6582-1416)までお問い合わせください。

未公開作品特別上映 (関西初上映) ええじゃないか・ニッポン宮城篇～気仙沼伝説



2006年/蓼プロモーション、バグポイント 監督:脚本:小林政広/出演:鈴木京香、杉本哲太、岸部一徳、倍賞美津子、渡辺真起子

◎2006年、震災前の気仙沼で撮影された伝説のキリシタン財宝を巡る恋と冒険の物語。長らく未公開だった本作を、東北の復興を祈念して特別上映。特別招待作品部門で上映される小林監督の新作『ギリギリの女たち』は3.11後の気仙沼で撮影された。あまりの風景の違いに、震災のすさまじさを実感する。

Pre-event